Special Olympics Nippon

知的障害のある人にスポーツを

vol. 31

Rainbow

公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本 NEWS

スペシャルオリンピックス（SO）とは　知的障害のある人たちに、日常的なスポーツトレーニングと成果の発表の場である競技会を年間を通じて提供し社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。

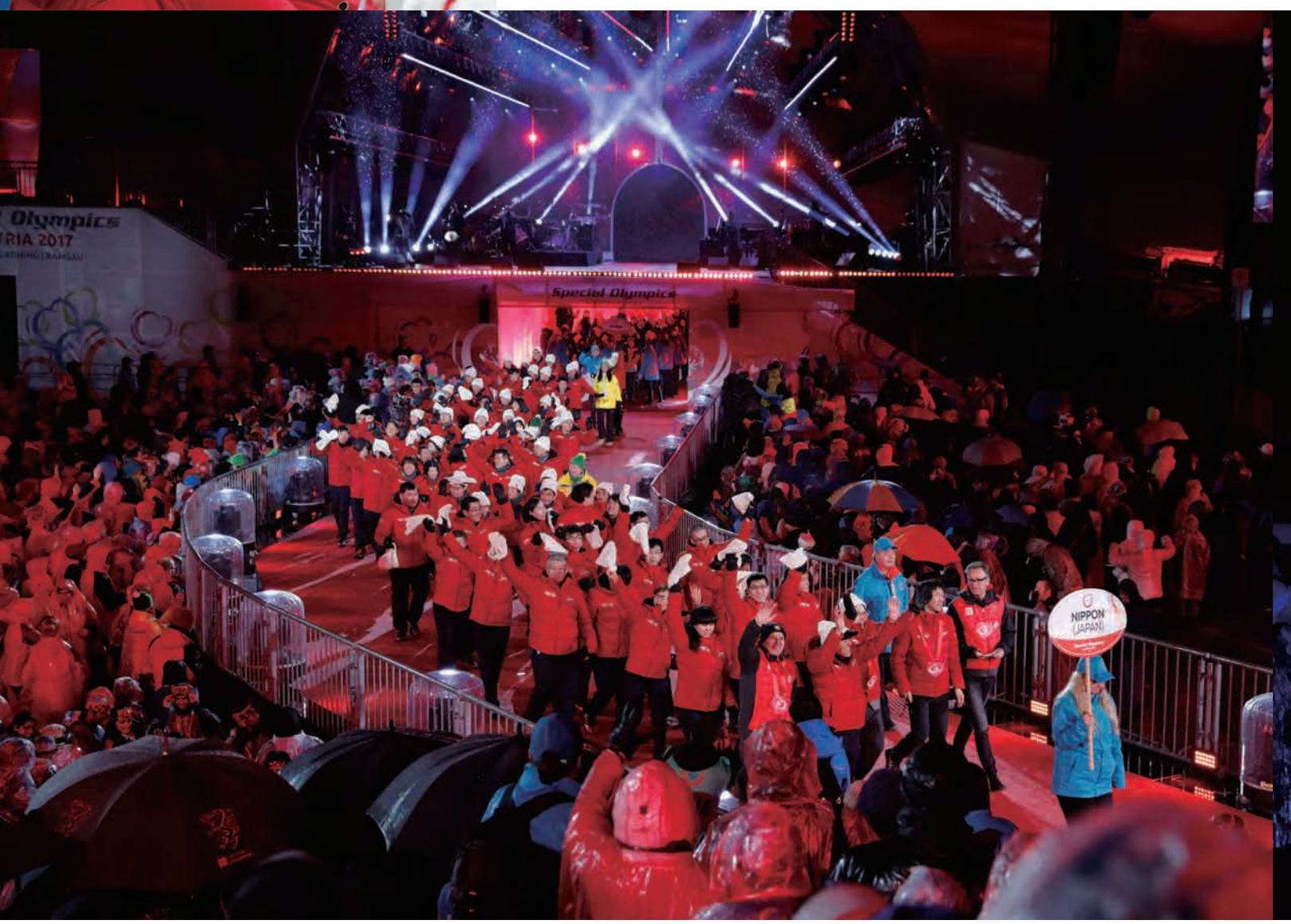
2017年 スペシャルオリンピックス
冬季世界大会
オーストリア

今後の発展につながる貴重な大会でした

スペシャルオリンピックス日本　理事長

有森裕子

世界大会前に、一人ひとりが「勝利」という目標を立て練習に励んできた日本選手団は、世界の舞台でも臆せず、その成果を発揮しました。一回りも二回りも大きく成長した選手の活躍は、この大会に関わったすべての人への大きな刺激になったと思います。また、今大会では前向きな課題も見え、今後のスペシャルオリンピックス日本の発展につながる貴重な機会となりました。世界大会日本選手団派遣に際して、多くの皆様のご支援ご協力を賜り、本当にありがとうございました。



大会概要

大会名称……2017年スペシャルオリンピックス冬季世界大会・オーストリア（英語表記:Special Olympics World Winter Games Austria 2017）
開催期間……2017年3月14日～25日
開催地……オーストリア（シュラートミング、ローアモース、ラムサウ、グラーツ）
参加者数……107の国と地域より14,800名
アスリート 2,700名 / コーチ・役員 1,100名 / ボランティア 3,000名 /ファミリー5,000名 / ゲスト 1,200名 /会議参加者 1,000名 /メディア代表者 800名
日本選手団……団長:大和田 誠（公益財団法人スペシャルオリンピックス日本 参与） 81名（アスリート 54名 /コーチ・役員 22名 / サポートチーム 5名）

日本選手団競技結果	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	DSQ/ME
アルペンスキー	2	7	4	2	5	2	2		2
スノーボード	4	4	1		1				
クロスカントリースキー	2	1	3	2			1		
スノーシューイング	5	2	2	5					4
ショートトラックスピードスケート	2	4	2						
フィギュアスケート	1		2	1					
フロアホッケー					1				
合計	16	18	14	10	7	2	3	0	6

※ 競技結果URL:http://www.austria2017.org/en/games-2017/the-results
※ 団体競技 / 団体種目はメダルまたはリボン1つとして集計　※DQS:失格　ME:マキシマムエフォートルール違反

2017年 スペシャルオリンピックス 冬季世界大会

オーストリア

SPECIAL OLYMPICS
WORLD WINTER GAMES
AUSTRIA 2017
Graz | Schladming | Ramsau | Styria

Heartbeat for the world

素晴らしい成果をあげた大会だと実感しています

日本選手団団長

大和田誠

（スペシャルオリンピックス日本 参与）

3月開催だったこともあり予想外の穏やかな天候に恵まれ、また、食事をはじめ快適な滞在環境のもとで過ごした2週間でした。冬季競技王国の一角、オーストリアでの世界レベルと言える競技施設においてアスリート全員が思う存分力を発揮しました。唯一残念だったのは雪上のコンディションだったでしょうか。大会での有意義な経験を今後のプログラムへの取り組みの中で、さらには自身の生活の中で生かしてほしいと思います。

歓喜

No.	地区 名前	出場種目	順位
1	SON・青森 石黒 貴大	ジャイアントスラローム	7
		スラローム	2
2	SON・宮城 加藤 大介	ジャイアントスラローム	5
		スラローム	1
3	SON・東京 木附 雄祐	ジャイアントスラローム	6
		スラローム	2
4	SON・東京 武田 和幸	スーパージャイアントスラローム	5
		ジャイアントスラローム	6
5	SON・東京 吉原 圭輔	スーパージャイアントスラローム	2
		ジャイアントスラローム	2
6	SON・東京 浜井　慧	ジャイアントスラローム	2
		スラローム	2
7	SON・東京 柳下 沙也香	スーパージャイアントスラローム	5
		ジャイアントスラローム	3
8	SON・神奈川 前田 活人	スーパージャイアントスラローム	3
		ジャイアントスラローム	7
9	SON・長野 石塚　賢	ジャイアントスラローム	3
		スラローム	DSQ
10	SON・長野 宮本 安紀	ジャイアントスラローム	4
		スラローム	2
11	SON・大阪 中村　亘	ジャイアントスラローム	DSQ
		スラローム	4
12	SON・山口 大浜 孝介	スーパージャイアントスラローム	5
		ジャイアントスラローム	3
13	SON・福岡 弓削 まり子	スーパージャイアントスラローム	5
		ジャイアントスラローム	1

DSQ:失格

スノーボード

5人のアスリートは仲間意識が強く、励まし合ったり、笑わせたりと、とても良い雰囲気で大会を迎えました。しかし、「いざ競技が始まると、まさしくアスリートの顔に変わった」と、コーチの春原紀子さん。「1番に滑り、あと4人の滑りを見ながら待つ。緊張した。周りが騒いでいる。最後の一人の滑りが終わり、チーム 2つ目の金メダル。すごくうれしかった! 仲間と健闘をたたえあった」(SON・長野　田中允人さん)。

アルペンスキー

生憎の雨模様から、コースコンディションは厳しい状況。それでも最後まであきらめないアスリートに、アルペンスキーの本場でもあるオーストリアの人々の声援が、一際大きく響きました。「表彰式の日が誕生日で、サプライズで祝ってもらい、オーストリア、全世界の人たちがハッピーバースデーを歌ってくれました。仲間からは誕生日の寄せ書きももらい、感動して帰ってきました。最高の思い出をありがとう!」（SON・大阪　中村亘さん）。

仲間

No.	地区 名前	出場種目	順位
1	SON・長野 田中 允人	ジャイアントスラローム	1
		スラローム	2
2	SON・新潟 小関　都	ジャイアントスラローム	1
		スラローム	2
3	SON・新潟 二ノ宮 悠	ジャイアントスラローム	3
		スラローム	1
4	SON・福岡 橋本 壮史	ジャイアントスラローム	5
		スーパージャイアントスラローム	1
5	SON・福岡 原　良翔	ジャイアントスラローム	2
		スラローム	2

世界大会に向けて、アスリートたちは各地で合宿を行い、自らの技術向上に向けて努力を重ねます。そんな様子を、SON・北海道の熊本小菜実さんのファミリーは、「合宿から、生活や行動に自信がついたようです。学校でも積極的に学習に取り組み、言葉にも力強さを感じます」と、成長を実感されています。同じく浜田翔さんのファミリーも、「次なる目標は4年後のようです。また夢が膨らみ始めています。世界が広がった息子。表情が良いです」と語ります。

スノーシューイング

仲間とともに全力疾走したメンバー。「一番良かったことは、みんなで頑張ったリレーです。合宿の時より速く走り4位でした」と、SON・千葉の小笠原裕馬さん。頑張りすぎて大幅にタイムを縮めてしまい、マキシマムエフォートルールで失格になってしまったアスリートも。「大会に向けて毎日夕方、自宅近くを走った練習も力になったと思います。自己新記録を出せたことが何よりも尊く、私たちにも励みになりました」（SON・熊本　緒方愛さんファミリー）。

全力

成長

クロスカントリースキー

No.	地区 名前	出場種目	順位
1	SON・北海道 浜田　翔	5kmフリー	3
		10kmフリー	4
		4×1kmフリーリレー	4
2	SON・北海道 熊本 小菜実	1kmフリー	7
		2.5kmフリー	3
		4×1kmフリーリレー	4
3	SON・北海道 川本 麻衣	5kmフリー	1
		7.5kmフリー	1
		4×1kmフリーリレー	4
4	SON・山形 佐藤 彬人	1kmフリー	3
		2.5kmフリー	2
		4×1kmフリーリレー	4

No.	地区 名前	出場種目	順位
1	SON・千葉 小笠原 裕馬	100m	ME
		200m	4
		4×100mリレー	4
2	SON・千葉 三島 正人	100m	1
		200m	4
		4×100mリレー	4
3	SON・長野 工藤　恵	100m	2
		200m	1
		4×100mリレー	4
4	SON・愛知 松田 雄大郎	400m	4
		800m	1
		4×100mリレー	4
5	SON・兵庫 木村 真耶加	100m	2
		200m	1
		4×100mリレー	4
6	SON・熊本 緒方　愛	100m	ME
		200m	ME
		4×100mリレー	4
7	SON・熊本 吉田　彩	200m	1
		400m	3
		4×100mリレー	4
8	SON・宮崎 有川　翔	100m	3
		200m	ME
		4×100mリレー	4

ME:マキシマムエフォートルール

フィギュアスケート会場はオーストリア第2の都市グラーツ。「滅多に行けない場所でリンクを滑ったら、リンクがあまりにも滑りやすくて、驚きました」（SON・北海道　伊藤友里さん）。SON・東京の松元竣資さんのファミリーも、「会場には大きなモニターが2つもあり、大会マスコットと一緒に結果が出るまで待つキス・アンド・クライでは表情が映し出され、ライブ中継と実況放送が行われ、まるで世界選手権並の本格的なものでした」と語りました。

No.	地区	名前	出場種目	順位
1	SON・北海道	伊藤 友里	シングル	3
2	SON・東京	松尾 日出海	シングル	3
3	SON・東京	松元 竣資	シングル	4
4	SON・兵庫	室田 花菜	シングル	1

ショートトラックスピードスケート

努力

世界大会出場が決まると、アスリートたちは自らの「勝利」に向けて努力を続けてきました。出場決定後に心臓手術を受けた SON・神奈川の小山紗百合さんは、「手術を頑張ってオーストリアへ行く!」と13時間の大手術を乗り越え、3週間の入院後 1カ月で氷上に。「さすがに主治医もびっくりしていました」と、ファミリーの母・季枝さん。同じ神奈川の吉井陽洋さんも、毎日スクワットをして、帰国後の今もそれが続いているとのこと。皆、次の目標に向かって走り出しています。

フィギュアスケート

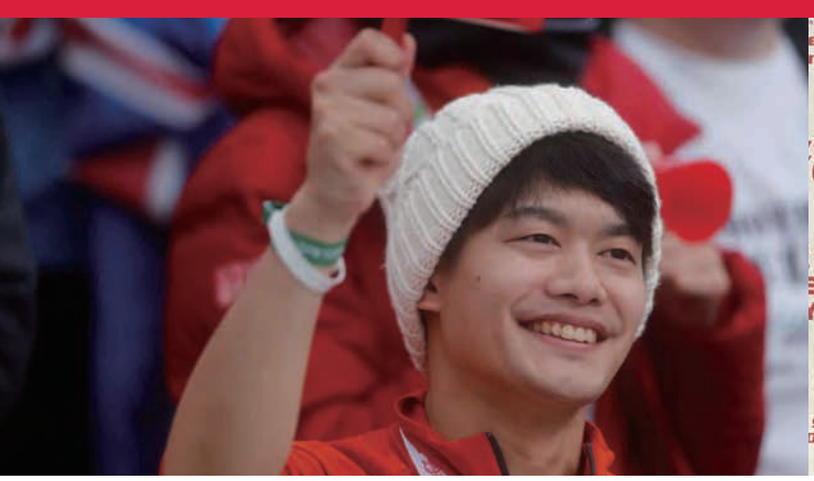
感動

No.	地区	名前	出場種目	順位
1	SON・東京	志村 悠辰	777m	2
			1000m	3
2	SON・東京	近藤 瑞穂	333m	1
			500m	2
3	SON・神奈川	吉井 陽洋	222m	2
			333m	2
4	SON・神奈川	小山 紗百合	111m	3
			222m	1

フロアホッケー

エアロバイクや筋トレと食事制限で 10kg以上体を絞ったSON・東京の高橋凌さん。逆に、食が細く体力に心配があった同・小澤陽介さんは、毎朝の散歩と筋トレを欠かさず食事も増やし、5〜6 kg体重を増やし試合に臨みました。皆が努力を重ねて臨んだ世界大会でしたが、世界の壁は厚く、大きな体でぶつかってくる海外選手に戸惑う場面も。しかし、「4年後にもし代表に選ばれたら、もっと強くなって帰ってきます」（SON・東京　福田啓史さん）と、意欲を燃やしています。

メッセージ from



小塚崇彦さん

2010年バンクーバーオリンピック フィギュアスケート出場

初めて世界大会に参加し、これほど華やかな開会式が行われていると知らなかったため、驚きから始まりました。競技では日本人選手が目の前で活躍する姿を応援することができ、感動をもらいました。各国から集まった選手同士、またサポーター同士の交流も大切にしており、大会全体を通じて、「楽しむ」ということを学ばせてもらいました。この経験を通じて得た「笑顔」の大切さを、また日本国内での活動にも繋げていければと思います。

森理世さん

2007年ミス ユニバース世界大会優勝

スペシャルオリンピックスの世界大会を現地で応援させていただくのは、今回で4回目。ドリームサポーターとしても9年経ちますが、アスリート達の活躍する姿にいつも大きな感動と、元気をもらいます。本大会でも、世界中から集まったアスリートが真剣勝負を繰り広げる中、競技後にはお互いの結果をたたえあう。そんな美しい光景を見ることができるのが、スペシャルオリンピックスの魅力だと思います!

衝撃

No.	地区	名前	出場種目
1	SON・東京	大森 裕明	チーム競技
2	SON・東京	小笠原 城	
3	SON・東京	小笠原 隆三	
4	SON・東京	小澤 陽介	
5	SON・東京	加藤 抄弥	
6	SON・東京	曽根原 孔太	
7	SON・東京	髙橋　凌	
8	SON・東京	中村 暢康	
9	SON・東京	福田 啓史	
10	SON・東京	藤 幸太郎	
11	SON・東京	森本 拓哉	
12	SON・東京	横山 達也	
13	SON・東京	渡邉 大輔	
14	SON・東京	渡辺 佑平	
15	SON・東京	片岡 真梨	
16	SON・京都	野口 泰弘	

対戦相手（スコア）	対戦相手（スコア）
1-1　アメリカ	4-9　スウェーデン
4-0　UAE	0-4　リトアニア
0-6　南アフリカ	2-5　インド
1-3　台湾	4-5　香港
0-0　キプロス	
決勝対戦相手（スコア）	
1-10　リトアニア	

順位
5

ドリームサポーター

安藤美姫さん
プロフィギュアスケーター

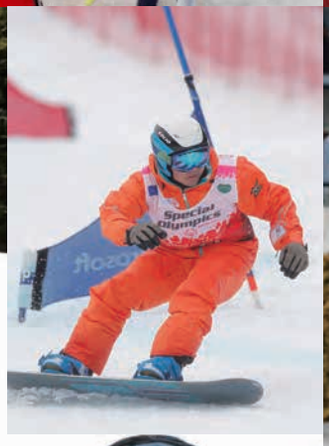
日本選手団の選考会でもある新潟大会から参加して一番感じたのは、日本との認知度、環境の差でした。スペシャルオリンピックスは世界では既にオリンピック、パラリンピックと同様の認知度があり、一般の観客の方が大勢、自国のアスリートを応援する姿に衝撃を受けました。日本でも、2020東京オリンピックが盛り上がっている今こそ、今回の経験を基に、折に触れてスペシャルオリンピックスを語るなどできることを増やしたいと思いました!

阿部雅司さん
スペシャルオリンピックス日本 理事
1994年リレハンメルオリンピック ノルディック複合団体金メダリスト

この度、オーストリアでのスペシャルオリンピックス世界大会に参加し、たくさんの貴重な経験をさせていただき、本当に感謝しています。大会では、アスリートが競技に一生懸命取り組む姿勢や、力を出し切った後の笑顔、そしてコーチやファミリーとの絆など多くの感動をもらって帰ってきました。このスペシャルオリンピックスの活動の素晴らしさを一人でも多くの人に知ってもらい、アスリートの笑顔を少しでも増やしていきたいと思いました。

SPECIAL OLYMPICS WORLD WINTER GAMES AUSTRIA 2017
Graz | Schladming | Ramsau - Steiermark | 14.-25. März 2017
Special Olympics

「勝利」はこの手に。



金メダルを取れたことが、すごくうれしくて泣きました。
みなさんの応援があって頑張れたと思います。

（SON・北海道　川本麻衣さん）

結団式

世界大会の開催地オーストリアに出発する前日、3月13日（月）に日本空港ビルデングのギャラクシーホールにて日本選手団結団式を開催しました。日本選手団 81名が集結し、大和田誠団長、代表アスリート・コーチが力強く決意表明し、オーストリアでの健闘を誓いました。

フリーアナウンサーの福澤朗さん、山田玲奈さんの司会のもと、ご来賓の高円宮妃殿下よりお言葉を頂戴し、また駐日オーストリア大使のフーベルト・ハイッスさん、スポーツ庁審議官の木村徹也さんからご挨拶をいただきました。

また、応援にかけつけてくださったスペシャルオリンピックス日本ドリームサポーターの北澤豪さん、森理世さん、安藤美姫さん、小塚崇彦さんから世界大会に臨む日本選手団全員の名前を読み上げていただき、会場全員から大きな拍手が送られ、日本選手団一人ひとりハイタッチで送り出していただきました。

高円宮妃殿下

フーベルト・ハイッス氏

木村徹也氏

開催概要

名称	2017年スペシャルオリンピックス冬季世界大会・オーストリア 日本選手団結団式
開催日程	2017年3月13日（月） 17:00 ～ 17:35
場所	羽田空港　第1旅客ターミナル6F　ギャラクシーホール
司会	福澤朗氏 山田玲奈氏
来賓	高円宮妃殿下 フーベルト・ハイッス氏（駐日オーストリア大使） 木村徹也氏（スポーツ庁 審議官）
ゲスト	北澤豪氏　（元サッカー日本代表） 森理世氏　（2007年 ミス ユニバース世界大会優勝） 安藤美姫氏（トリノ・バンクーバーオリンピック フィギュアスケート出場/プロフィギュアスケーター） 小塚崇彦氏（2010年バンクーバーオリンピック フィギュアスケート出場）
参加者	細川佳代子（スペシャルオリンピックス日本　名誉会長） 三井嬉子　（スペシャルオリンピックス日本　会長） 新宅正明　（スペシャルオリンピックス日本　副理事長） 藤本和延　（スペシャルオリンピックス日本　常務理事） 大和田誠　（日本選手団団長/スペシャルオリンピックス日本 参与） 日本選手団　81名
主催	公益財団法人スペシャルオリンピックス日本
協力	日本空港ビルデング株式会社

Special Olympics Aichi2018 National Summer Games

スペシャルオリンピックスでは、オリンピックと同様に 4年毎に夏季・冬季の世界大会を開催しています。
2018年に愛知県で開催する「2018年第 7回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・愛知」は、
2019年にアラブ首長国連邦のアブダビで開催されるスペシャルオリンピックス世界大会への日本選手団選考を兼ねて開催されます。

大会名称　2018年第7回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・愛知　（略称）スペシャルオリンピックス2018愛知
開催日程　2018年9月22日（土）～24日（月・祝）3日間
開催地　愛知県内各所　（名古屋市、豊田市、刈谷市、日進市、大治町を予定）
参加者数　全国から約16,400名　アスリート 約1,000名　役員・コーチ 約550名　大会役員・審判 約350名　ボランティア 約のべ 4,500名　観客 約のべ 10,000名
実施競技　13競技（予定）
大会サイト　http://son-national-game.spo-sta.com/

SPECIAL THANKS

株式会社ユニクロ

開閉会式等で日本選手団が着用した式典用ユニフォームをご提供いただきました。

アシックスジャパン株式会社

式典以外での日本選手団共通ユニフォームに加え、フロアホッケー、クロスカントリーなどの5競技の競技ユニフォームをご提供いただきました。

日本航空株式会社

日本選手団の渡航支援、並びにサポートそして搭乗ゲートでのレセプションや機内でのスペシャルオリンピックス公式映像の放映等を行っていただきました。

ソフトバンクグループ株式会社

大会期間中の日本選手団スタッフ間の連絡手段として iPhone、iPad、PHSなどのモバイル端末をご提供いただきました。

株式会社フォート・キシモト

日本選手団の公式カメラマンとして世界大会期間中の記録撮影にご協力いただきました。

応援企業メッセージ

トヨタ自動車株式会社
TOYOTA

トヨタ自動車株式会社
社会貢献推進部 部長
布垣直昭さん

「逆境ってなんでしょうか」。現地についておやっ…と思ったのは 3月とは思えない暖かさ。「競技場の雪は大丈夫だろうか?」。しかも、開会式は雨。翌日のゲレンデは晴れ間も見えましたが、その分雪も溶け始めてきました。それでも各国からの応援団は大盛り上がり。自国の選手だけでなく、全てのアスリートの姿に向かって。スノーボードで優勝した橋本壮史選手を囲むご家族や応援団に、はじけるような笑顔と歓声が。感動に逆境はない…。そんな冬季世界大会観戦となりました。大会に関わられた全ての皆さまに感謝です。

公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本 寄付・協賛企業団体一覧

■ナショナルパートナー

（株）ユニクロ、トヨタ自動車（株）、日本コカ・コーラ（株）、（株）AOI Pro.、ソフトバンクグループ（株）、アシックスジャパン（株）、ソニー生命保険（株）

■プレミアスポンサー

日本KFCホールディングス（株）、日本航空（株）、三井住友海上火災保険（株）、Anytime Fitness Japan

■フレンドシップスポンサー

（一社）日本フードサービス協会、（株）NTTドコモ、東京海上日動火災保険（株）、（株）三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行（株）、明治安田生命保険相互会社、（株）スリーボンド、（株）三井住友銀行、三井不動産（株）、三井物産（株）、リシュモンジャパン（株）、SCSK（株）、ビザ・ワールドワイド・ジャパン（株）、（株）大林組、加賀電子（株）、（株）東京通信、（株）オニザキコーポレーション、新日本空調（株）

■助成金

スペシャルオリンピックス冬季世界大会長野記念資金、（一財）日本メイスン財団、全国生活協同組合連合会、全国労働者共済生活協同組合連合会、スペシャルオリンピックス国際本部、
（独）日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成、（公財）森村豊明会、（公財）ヤマト福祉財団、マテルこども財団、横浜こどもスポーツ基金

■寄付・協賛

東京マラソンチャリティ"つなぐ"、大阪マラソン組織委員会、ビーアークホールディングス（株）、AIGジャパン・ホールディングス（株）、（株）よしもとクリエイティブ・エージェンシー、リタジャパン（株）、ウォルト・ディズニー・ジャパン（株）、
ウォルト・ディズニー・ジャパン社員有志、（株）三菱東京UFJ銀行社会貢献基金、海外酒販（株）、在日米国商工会議所、イービーエスディーリングリソーシスジャパン（株）、メリルリンチ日本証券（株）、ソフトバンクモバイル（株）かざして募金、
セコムチャリティオークション事務局、東京海上フィルハーモニックオーケストラ部、東京海上日動Share Happiness倶楽部、（株）CHINTAI、日本オーチス・エレベータ（株）、（株）日本財託、（株）フタバファー、（株）プラボーグループ、
（株）マッシー、エーザイユニオン、ブラザーズ（株）、日本オラクル（株）、（株）ローソン、富士ゼロックスアドバンストテクノロジー（株）、虎ノ門積善会、（公社）日本ボウリング場協会、AGCセラミックス（株）、
パイロットインターナショナル日本ディストリクト、共同カイテック（株）、UAゼンセン、（株）ソニックジャパン、（株）S.D.B.B.、JR東労組、グロッセ・ジャパン（株）、（一財）明治神宮崇敬会、（一社）学習院桜友会、（一財）三井報恩会、
（一社）飯田エレクトロニクス協会、（特活）チャリティ・プラットフォーム、（一財）ジャパンギビング、I.R.M.アカデミー、森育子ダンススタジオ、ディー・エイチ・エル・ジャパン（株）、ディー・エイチ・エル・ジャパン（株）端数倶楽部、
大同生命社会貢献の会、ソフトバンクモバイル（株）、千葉県騎手会、Triathlon Boys&Girls、（株）トーエル、アメリカン・エキスプレス・インターナショナル,Inc.日本支社、チャリティ白衣ファッションショープロジェクト事務局、
（株）PROFESSOR'S ROUND、杉野服飾大学、高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン実行委員会、軽井沢チャリティー・コンサート実行委員会、国際ソロプチミスト敦賀、ロバート・ウォルターズ・ジャパン（株）、富士ゼロックス端数倶楽部、
（株）ソーシャル・スパイス・カンパニー、映画「天心の譜」天草上映実行委員会、UBSグループ、UBS証券（株）、UBS銀行東京支店、UBSアセット・マネジメント（株）、伊那食品工業（株）、（株）トシ・コーポレーション、インフィリック（株）、
（株）グッドヒル、（株）ビジネスパートナーズ、東京都立大田桜台高校生徒会、東京ワシントンウィメンズクラブ、（有）難波アソシエイツ、八王子東京パイロットクラブ、（株）スマイルズ、（株）ロジネットジャパン西日本、（株）かるみあ、
（株）アップフロントワークス、（株）イデアインターナショナル、トヨタ輸送（株）、（株）あおぞら銀行、日本水産（株）、（株）ゴールドウイン、ミズノ（株）、ヨネックスジャパン（株）、エームサービス（株）、日本オフィス・システム（株）、
シーピーセンター（株）、（株）システムファイブ、（有）濵田商事、中外製薬労働組合、（株）服部不動産、ステート・ストリート・ジャパンCSP委員会、日赤兵庫県支部声の図書奉仕団はあもにいグループ、
ブルデンシャル生命保険（株）首都圏中央支社、ソリマチグループ有志一同、（特活）横浜スポーツアンドカルチャークラブ、ヨシダ印刷（株）、（株）スペクター・コミュニケーションズ、グリーンコープ生活協同組合ふくおか、
有馬ロイヤルゴルフクラブ、読売新聞西部本社、東京海上日動海上業務部、アンカー・シップ・インベストメント（株）、小野薬品労働組合、フィギュアスケーターの集い、ラッセル・インベストメント（株）、（株）プロスティ、
東京海上日動火災保険（株）資産運用部、東京海上日動火災保険（株）東海損害1部、東京海上日動火災保険（株）九州自動車営業部、東京木場製材協同組合、三菱UFJインフォメーションテクノロジー（株）、（株）パソナハートフル、
東洋大学社会学部志村ゼミ、（一社）日本障害者歯科学会、さつき商事（株）（株）市川組、（医）塚田こども医院、熊本血管外科クリニック、日本化学エネルギー産業労働組合連合会、
すみだ北斎美術館新築工事協力会社安全衛生協力会、岐阜日野自動車（株）、（株）ファンコミュニケーションズ、（株）高砂コンピューターサービス、ヤフー（株）、（株）En女医会、（株）爽健グローバル 笑顔道整骨院グループ、
シオノギ社会貢献支援会、（一財）東京マラソン財団、アディダス ジャパン（株）、（福）東京コロニー従業員等有志一同、テクノプロ・ホールディングス（株）、（株）テクノプロ・スマイル、（一財）ピーくん財団、（株）ロクマル、
東京海上アセットマネジメント有志一同、マッコーリーキャピタル証券（株）、東京新橋ライオンズクラブ、（株）テラスホールディングス、パイロットインターナショナル日本ディストリクト、フェリング・ファーマ（株）、（有）オフィスFirst、大和商工（株）、
（株）東舞トータルサービス、（株）東京舞台照明、（株）東京舞台照明ホールディングス、（株）エムエヌスタッフ、（株）オフィスココ、（株）コミュニティ ツーリズム デザイン、エイチエムディディ（株）

■SOメイト

SOMPO企業保険金サポート（株）、損保ジャパン日本興亜キャリアビューロー（株）、（株）ワークスアプリケーションズ、（株）ビルド、マグナス（株）、三井嬉子、廣澤彰、（株）双龍工務店、（株）オーゼン、（株）オオバ工務店、
富士ゼロックス福島（株）、福島トヨペット（株）、（有）アサカサービスセンター、（医）安積保養園あさかホスピタル、小川工業（株）、（有）ワクワーク、神奈川県ボウリング場協会、富士ゼロックス（株）、富士ゼロックス端数倶楽部、
（株）トーエル、大安興業（株）、横浜ゴム（株）、日本発条（株）、（株）ア・ファクトリー、横浜北ロータリークラブ、鶴岡八幡宮、東日本電信電話（株）神奈川事業部、（株）ファンケル、ファンケルグループもっと何かできるはず基金、
藤沢8ロータリークラブ、茶美の会茶道部、セイコーエプソン（株）、富士ゼロックス長野（株）、（株）ティアマリア、JA長野県グループ長野大学後援会、ホクト（株）、丸美屋食品工業（株）、（株）シーディーホールディングス、
国際ソロプチミスト長野ーみすず、信濃毎日新聞社、（株）新興製作所、佐久ライオンズクラブ、（一社）新潟県産業廃棄物協会、リンタツ（株）、（株）加藤自動車相談所、ヒューマンボランティア協会、徳島藍ライオンズクラブ、
徳島県勤労者福祉ネットワーク、徳島県共同募金会、スペシャルオリンピックス日本・徳島支援チャリティーゴルフコンペ実行委員会、（株）ファルコン、金谷光夫、SO尼崎プログラムを支える会、甲子園ロータリークラブ、
JAWKインターナショナル、神戸社会福祉協議会、神戸あじさいライオンズクラブ、東亜広告（株）、喜多敬、国際ソロプチミスト京都、関西紙料（株）、京都ロータリークラブ、京都ライオンズクラブ、（医）啓信会、（一社）茶道裏千家淡交会、
茶道裏千家淡交会京都四青年部連合会安田政治、浮田礼子、国際ソロプチミスト京都-弥生、鳥取信用金庫、山岸ルツ子ピアノリサイタル実行委員会、（株）戸信、トーヤク（株）、富士ゼロックス栃木（株）、あずき整骨院、毎日興業（株）、
（株）関東パイプ技研、スカイコート（株）、（株）天、（株）力屋、北翔会、岩舘電気（株）、岩手トヨペット（株）、オーエム通商（株）、（株）高光建設、リンタツ（株）、トーヤク（株）、（医）社団善仁会　就労支援事業所　One Heart、万田酵素（株）、
（株）八天堂、三谷建設（株）、広島ロイヤルライオンズクラブ、（株）今川工務店、埼玉レジャー産業（株）、ユニオンゴルフクラブ、JAIFA神奈川県協会、東日本電信電話（株）神奈川事業部、関東化成工業（株）、（株）トーエル、
竹虎ホールディングス（株）、（株）みすずコーポレーション、富士ゼロックス兵庫（株）、芦屋東ライオンズクラブ、猪名野ライオンズクラブ、（有）丹波わらしべ屋、SON・徳島 ファミリー委員会、新日本製薬（株）、九州電力（株）、
（一社）福岡市医師会、グリーンコープ生活協同組合ふくおか、（有）ネビック、（株）ジェイアイシー、（有）東北観光ツーリスト

■協力

（株）フォート・キシモト、（株）RIGHTS.、（株）マック、（株）アムラックストヨタ、（株）トヨタレンタリース東京、日本バルーン協会、（有）岩村包装企画、エールラン実行委員会、SONサポーター丸の内女子会、（株）イデアクレント（篠塚正典）、
（株）ライゾマティクス、（株）ジャパン通信社、（有）ブルーフィールド、（株）オズマピーアール、トライ・アングル企画、ルーデンス（田川正一）、（株）ディレクターズシステム、志萱晃一、宮尾純平、En女医会、中野裕弓、Morning☆Diamonds、
TOMOKO KOJIMA CHEERDANCE ACADEMY、（公財）日本体育協会、日本スポーツマンクラブ、デルタ航空、クーバー・コーチング・ジャパン、富士ゼロックス東京（株）、セイコーエプソン（株）松本事業所、
（株）セールスフォース・ドットコム、第一貨物（株）、エフピコ物流（株）、（株）富士通東北システムズ、（有）サポートプランニング、（株）ステディ スタディ、Chloe青山店、（株）エスイーエス、（株）ワンウェイ、
SCSK社会貢献活動クラブ Earth One、キヤノンマーケティングジャパン（株）、（株）城山、ゼビオ（株）、あさかホスピタルグループ、（株）ティーズフューチャー、（株）スポーツワン、日清ファルマ（株）、（株）知足堂、
（株）インパクトトレーディング、（株）明治、Chloe、（株）リッシ、gooddo（株）、笑顔道整骨院グループ、LEGEND STAR Co. Ltd.、（株）ファンコミュニケーションズ、㈱ライフリンクス、旭化成ゾールメディカル㈱、（株）サンライズジャパン、
横浜市消防局、横浜市消防音楽隊、日本空港ビルデング（株）、山下泰裕、王貞治、原辰徳、北澤豪、中田英寿、森島寛晃、松浦亜弥、森理世、萩原美樹子、堀尾正明、小林研一郎、為末大、井上康生、国枝慎吾、宇津木妙子、
小谷実可子、杉山愛、荒川静香、SHIHO、有働由美子、上野由岐子、柴田亜衣、水鳥寿思、森田智己、久保田智子、西田敏行、名取裕子、和合亮一、アポロ・アントン・オーノ、吉永小百合、町亞聖、羽賀将一、唐橋ユミ、小鳥智子、
金哲彦、荻原次晴、山本ゆうじ、エリック・ワイナイナ、山田玲奈、三宅宏実、三宅義行、藤井彩子、中本健太郎、秋山浩志、浦田典明、奥田智子、富田薫、生田裕佳、松本眞理子、君原健二、小鴨由水、佐藤真海、MISIA、安藤美姫、
今井逸、小野沢裕子、おおご菜夕、堀敏彦、近藤丈靖、鈴木秀喜、五十嵐利恵、阿部雅司、平岡拓晃、小塚崇彦、岡崎朋美、田村亮、永島昭浩、NON STYLE、八木真澄（サバンナ）、なかやまきんに君、大西ライオン、
太田博久（ジャングルポケット）、おたけ（ジャングルポケット）、ロッシー（野性爆弾）、木村卓寛（天津）、げんき～ず、井田（イダリアン）、玉城将太（リッチボール）、宮本恒靖、相馬崇人、近藤岳登、永井義文、ミルクボーイ、スマイル、
クロスバー直撃、西田美和、勅使川原郁恵、中村健人、8.6秒バズーカー、インポッシブル、くまだまさし、バッドボーイズ、ライス、福澤朗

■個人寄付

村上雅則、細川佳代子、三井嬉子、川上優子、小林廣久、岩崎眞揺、高石好志、加藤武文、萱間隆夫、小林益久、山口計子、横川浩、水町真理子、杉本憲一郎、木太久茂、斎間誠司、藤本京子、藤本純子、近衛甯子、山川哲司、
後藤由美、澤田哲也、東京マラソン2015 SONチャリティランナーの皆様、SON主催2015年SONチャリティトークショーご参加の皆様、SON主催第5回エールランご参加の皆様、東京マラソン2016 SONチャリティランナーの皆様、
SON主催第6回エールランご参加の皆様、SON主催参加費が寄付になる2017年SONチャリティトークショーご参加の皆様、東京マラソン2017 SONチャリティランナーの皆様

2017年5月現在　順不同　敬称略

発行日　2017年6月30日　発行責任者　公益財団法人スペシャルオリンピックス日本　〒105-0003 東京都港区西新橋2-22-1 西新橋2丁目森ビル7階　TEL.03-6809-2034 FAX.03-3436-3666 http://www.son.or.jp
公益財団法人スペシャルオリンピックス日本　ニュースレター『Rainbow』vol.31　デザイン:若田友康（WKT）　集:トライ・アングル企画　撮影:（株）フォート・キシモト　印刷:ジャパンプリント（株）